

社会福祉法人川東の里**生活介護施設「むぎわら」、就労継続支援B型「フレンズ」(北見市)**

○基礎情報

【経営形態：「むぎわら」養豚、農作業、農産物加工ほか

「フレンズ」豚肉加工(ハム・ベーコン)製造販売】

【従業員数：「むぎわら」7名、「フレンズ」6名】

【事業所利用者数：「むぎわら」19名、「フレンズ」16名】



<問い合わせ先>

「むぎわら」

☎ 0157-56-4678

URL: <https://kawahigashinosato.jp/office/mugiwara>

「フレンズ」

☎ 0157-22-6395

URL: <https://kawahigashinosato.jp/office/friends>**1 農福連携に取り組んだ経緯**

「むぎわら」：以前から事業所利用者(以下、「利用者」という。)の作業として養豚及び農作業を取り入れていたことから、平成24年に養豚や農作業を主な活動とする「むぎわら」を開設。

「フレンズ」：「むぎわら」で生産した豚の枝肉をハムやベーコンに加工し、法人内施設の食事に使用したいとの考えから、昭和59年から食肉加工をスタートし、平成2年に「フレンズ」を開設。年々加工技術が向上し、現在は通信販売のほかスーパーで一般販売も行っている。

2 取組内容

「むぎわら」：

施設利用者の活動の場として養豚、農作業、農産物加工などの作業を提供

「フレンズ」：

- (1) 就労形態：「むぎわら」が生産した豚肉の枝肉をハムやベーコンに加工
- (2) 就労期間：通年 ※原則、土日休み
- (3) 就労時間(休憩)：原則9:00~16:00(昼1時間、午後30分程度)
- (4) 工賃：平均約20,000円/月
- (5) 送迎：複数の集合場所へ送迎。
- (6) 昼食：法人内の配食センターから提供。昼食代の実負担額は230円

**3 取組の特徴**

「むぎわら」：

- (1) 利用者は、全て知的障害。男女比率は男性8割、女性2割。
- (2) 養豚は交配から肥育まで行っており、作業内容は、餌やりや清掃など。
- (3) 養豚で発生する堆肥を利用して、トマト、ピーマン、たまねぎ、長ネギ、かぼちゃ、にんにく、豆類などを露地とハウスで栽培している。
作業内容は、圃場の草取り、作物収穫、袋詰め、豆の選別や加工などを行う。
生産・加工した農作物は、法人内各施設の食材として利用するほか、法人内直売店にて一般向けに販売している。



「フレンズ」：

- (4) 利用者は全て知的障害。男女比率は男性8割、女性2割。
- (5) 枝肉カットから燻製・梱包まで、一連の食肉加工作業を行っている。
- (6) 作業を細分化し範囲を絞り、利用者の性格、能力、特性などに配慮し作業を分担している。
- (7) 作業の見通しがわからないと不安な利用者があるため、スケジュール表を掲示し翌日以降の担当作業が見える化するなど配慮している。

**4 障害者就労への考え方(フレンズ)**

- (1) 機械作業は職員が行うが、それ以外の作業は、職員が安全確認などの目配り気配りを行いつつ、利用者が加工作業の主体になることで、社会参加の実感が得られるものとする。
- (2) 利用者の得手不得手を把握し、パズルのピースを組み合わせるイメージで作業割り振りを考えている。

5 今後の予定や将来展望(フレンズ)

事業の継続や工賃を確保するため、ロスを減らす工夫や販売先の確保など引き続き注力していきたい。